

## 都道府県の情報

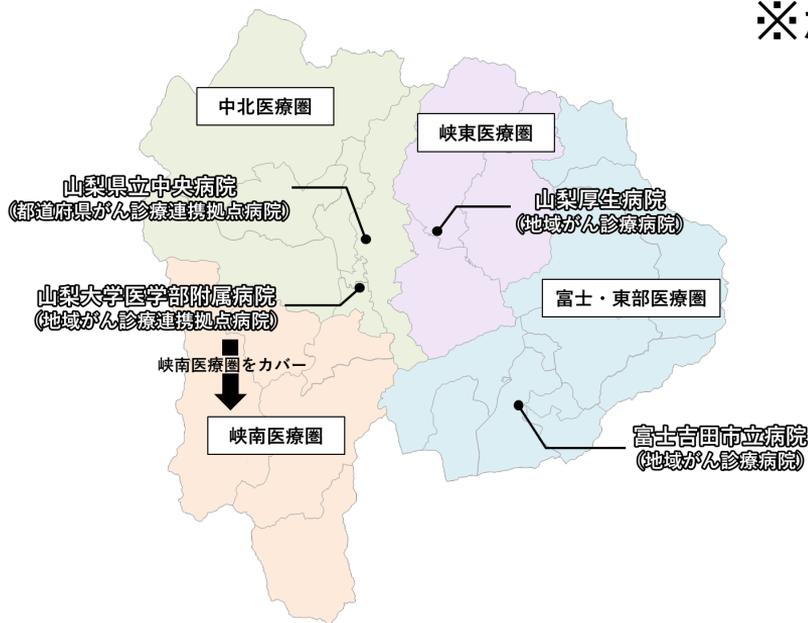
都道府県内の総人口  
がん死亡者数 (%)  
高齢化率

809,974人 (R2.10.1時点)

2,433人 (0.3%)

31.1% (R2.10.1時点)

※がん死亡者数は令和2年の実績



## 都道府県内のがん患者の状況

がん種	罹患者数	粗罹患率 (人口10万対)	死亡者数	粗死亡率 (人口10万対)
肺がん	753 人	93.0	463 人	58.3
大腸がん	892 人	110.1	343 人	43.2
胃がん	621 人	76.7	287 人	36.1
乳がん	606 人	74.8	98 人	12.3
肝臓がん	279 人	34.4	199 人	25.1
子宮頸がん	59 人	14.3	9 人	2.2

出典:全国がん登録 都道府県版標準集計表2020(山梨県)



山梨県立中央病院

山梨県

## がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院 1施設

地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院 644床

地域がん診療連携拠点病院 1施設

山梨大学医学部附属病院 618床

## がん診療病院の情報

地域がん診療病院          2施設  
山梨厚生病院                  497床  
(グループ指定:山梨県立中央病院)

富士吉田市立病院              310床  
(グループ指定:山梨大学医学部附属病院)

上記2施設については、二次医療圏のうち、拠点病院のない  
峡東医療圏と富士・東部医療圏において、がん診療の質が  
担保されるよう指定を推薦  
(※峡南医療圏については、山梨大学医学部附属病院がカバー)

## 都道府県におけるがん医療の特性

- がん対策推進計画の取り組みの指標を「継続的に、がん死亡率の低減を目指す」とし、75歳未満年齢調整死亡率は2022年と2012年を比較すると約17%減少している。
- 胃、肝といった大きく死亡率が減少した部位がある一方、大腸や乳房、子宮の死亡率が減少していない。
- 2022年における全がんの75歳未満年齢調整死亡率は、全都道府県中3番目に低い。

## 都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

### 【現状】

- がんに対する質の高い薬物療法を安全に提供するため、拠点病院等を中心に、継続的にレジメンを審査し管理する体制の整備や、専門的な知識及び技能を有する医師等の医療従事者の配置を推進。
- 免疫チェックポイント阻害薬や遺伝子情報に基づく治療薬等の新しい薬物療法について保険適用が拡大されたほか、外来での薬物療法の拡大が進められてきた。

### 【課題】

- 高齢のがん患者等の合併症リスクの高い患者の増加や新しい薬物療法の普及に伴う、新たな副作用や学際領域への対応に向け、薬物療法に係る専門的な医療従事者の配置について、地域間及び医療機関間における格差の是正が求められている。
- また、がん患者が薬物療法に関する正しい情報を得ることができる取り組みを進める必要がある。
- 患者やその家族等の経済的な負担の軽減につながるバイオ後続品については、更なる使用促進に向けた取り組みが求められている。

# 研修の概要

## 【タイトル】

チームビルディング「がん化学療法よろず相談所」

## 【目的】

チームビルディング、病院間の繋がり形成、病院内の繋がり形成

## 【対象者・人数】

がん診療にかかわる医師、看護師、薬剤師、MSW（個人での参加も可）

## 【目標】

一般目標（GIO）

（理解できる、習得する、身につける）

県内のがん診療の状況が理解できる

到達目標（SBO）

（説明できる、列挙できる、実施できる）

県内にどのような病院ががん診療にかかわっているか列挙できる

病院内でどのような職種ががん診療にかかわっているか列挙できる



# 研修の評価

## 【実施評価】

- ・計画と実際の進行が一致しているか
- ・参加者数、参加率、参加者の属性
- ・研修運営側の人数、役割分担、予算は適切だったか
- ・プログラムの内容、組み立ては適切だったか

## 【結果評価】

- ・研修前・後にアンケートを行い、到達目標の達成度を評価する
- ・研修終了後、現場に戻ってからの変化を評価する

## 【企画評価】

- ・現状の分析・課題抽出は適切だったか
- ・研修の目的・目標設定は、ニーズと合っていたか
- ・実施計画は目標を達成できる内容だったか

# プログラム

## 1日目

開始	終了	時間	研修方法	内容
12:30	13:00	0:30	受付	
13:00	13:30	0:30	アイスブレイク	
13:30	14:30	1:00	グループワーク(KJ法)	職種ごとに困りごとを抽出し、抽出した内容の整理、叙述
14:30	15:00	0:30	発表	上記内容の共有 (発表3分+質疑応答3分×4)
15:00	15:20	0:20	休憩	
15:20	16:20	1:00	グループディスカッション	施設内で問題点への解決方法について検討
16:20	16:50	0:30	発表	上記内容の共有 (発表3分+質疑応答3分×4)

セッションの詳細は時間があるよう  
でしたら作成ください



# セッション1 ○○○○

日時  
場所  
セッティング  
担当  
用意するもの

○月 ○日(○) 00:00~00:00

【学習目標】

【事前準備】

【会場準備】

【すすめ方】

【セッションでの留意点】